

市測協だより

(第45号)

平成25年8月発行
一般社団法人 福岡市設計測量業協会
福岡市中央区薬院1丁目6番16号
〒810-0022 百田興産ビル201号
TEL (092) 751-8246
FAX (092) 751-2271
<http://www.f-shisokukyo.or.jp>
E-mail: info@f-shisokukyo.or.jp

福岡市道路下水道局長 中野計雄



晩夏の候、貴協会会員の皆様におかれましては、日頃より本市事業の推進に多大なる貢献をいただき深く感謝申し上げます。

また、都市基盤の計画・整備にあたり重要な役割を担う設計測量技術に関しまして、高い技術力を保持し続けるため技術研究や研鑽を積み重ねている貴協会の活動に深く敬意を表します。

本局は、市民に身近な道路・河川・下水道事業の3つの都市基盤の計画・整備・管理に取り組んでおり、本市のまちづくりの重要な責務を担っております。

道路事業におきましては、本年6月に、平成28年度までの道路整備の方向性と目標を示した「福岡市道路整備アクションプラン2016」を策定し、これに基づき道づくりを進めてまいります。

河川事業におきましては、2級河川の都市基盤改修区間や準用河川の改修を実施し、治水安全度の向上に努めております。

下水道事業におきましては、浸水対策や施設の耐震化・改築更新に取り組むとともに、本年6月に「下水道経営計画2016」を策定し、更なる経営の安定や財政の健全化に努めてまいります。

本市の都市基盤施設は、高度経済成長期を中心に整備されており、老朽化の進行とともに、維持管理や改築更新コストの増大が懸念されております。財政状況は大変厳しい状況ではありますが、事業の選択と集中、計画的な維持管理手法の導入により、財政規律と投資とのバランスを図りながら、市民の生活の安全・安心を守り、都市の魅力に磨きをかける施策を推進してまいります。

貴協会会員の皆様におかれましては、今後とも本局の3事業の推進に更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会の益々のご発展と、会員皆様方のご健勝、ご繁栄を心よりお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。

【早良区福岡タワー】

一般社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員はふくおかを愛し、ふくおかの発展に全力を尽くします。

ご挨拶

一般社団法人福岡市設計測量業協会

副会長 大塚 憲一
(測量部会)

晩夏の候、会員の皆様におかれましては、日頃より協会へのご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

政権交代から、早半年以上たち、一部大手企業には景気回復の兆しが見えていますが、依然として我々の業界はまだまだ厳しい状況が続いております。

安倍政権の三本の矢のうち、2本目が公共事業の拡大による景気浮揚策であり、当初の15ヵ月予算の施行にて年度末に発注はされましたが、新年度においても、期待したいところです。

とくに、今までの落ち込みにより、技術員の減少と若い人材の不足は将来において、また業界にとって死活問題にも値する状況です。さらに現場に対応すべき測量技術者の数は年々減少の一途をたどっております。

そこで当協会においては、3次元計測を始め新技術の習得に努める一方、福岡市に対して技術力の目安として、設計測量継続教育制度(FPCS-CPD)を定め、技術者が研修・講習等で習得した技術、及び技術者保有状況をホームページ上にて閲覧できる環境を構築しております。

また、2月に締結した福岡市との「防災支援活動に関する基本協定」におきましては、万が一の発生の事態には、協会員の対応を速やかにすべく、模擬訓練等を行い、市との協力体制を図っております。

測量設計はすべてのインフラの土台としての自負のもと、協会員一致団結し今まで以上に、技術力、提案力を兼ね備え、常に福岡市と一体との気持ちを持って、頑張る所存です。

皆様のご協力、ご指導、ご支援のほどよろしく申し上げます。



理事会報告

- | | | | |
|-------|--|-------|--|
| 1月25日 | ・福岡市へのPR活動実施報告
・平成25年新年懇親会進行について | 4月26日 | ・行政連絡協議会について |
| 3月11日 | ・福岡市との防災協定について
・平成24年度決算見込み・25年度予算等について | 5月25日 | ・総会の進行について
・防災委員会からの提案について |
| 4月15日 | ・平成24年度事業・決算報告
・平成25年度事業計画・予算案について
・総会付議案について
・総会の進行について
・防災支援活動計画について
・「測量の日」行事について
・街区基準点復元測量点検者について | 6月11日 | ・各委員会・部会からの報告
防災委員会・行政連絡協議会・測量部会・企画部会
・「測量の日」行事報告 |
| | | 7月 9日 | ・福岡市へのPR活動班編成について
・市測協だより(第45号)について
・経営者研修会について
・各委員会・部会からの報告
防災委員会・総務部会・測量部会・企画部会
・平成25年度技能功労者推薦について |

平成25年通常総会開催

5月23日、博多区住吉のグランドハイアット福岡において、平成25年度通常総会を開催した。

議長に(株)エムテックエンジニアリングの松本秀満氏を選出した後、審議を行い各議案は原案通り可決された。

- 第1号議案 平成24年度事業報告の承認
- 第2号議案 平成24年度収支決算の承認
- 第3号議案 平成25年度事業計画
- 第4号議案 平成25年度収支予算
- 第5号議案 定款の一部変更について

総会終了後は、高島福岡市長をお迎えして、懇親会が盛大に開催され交流を深めた。



▲平成25年度通常総会、上田会長の挨拶



福岡市と防災協定を締結！

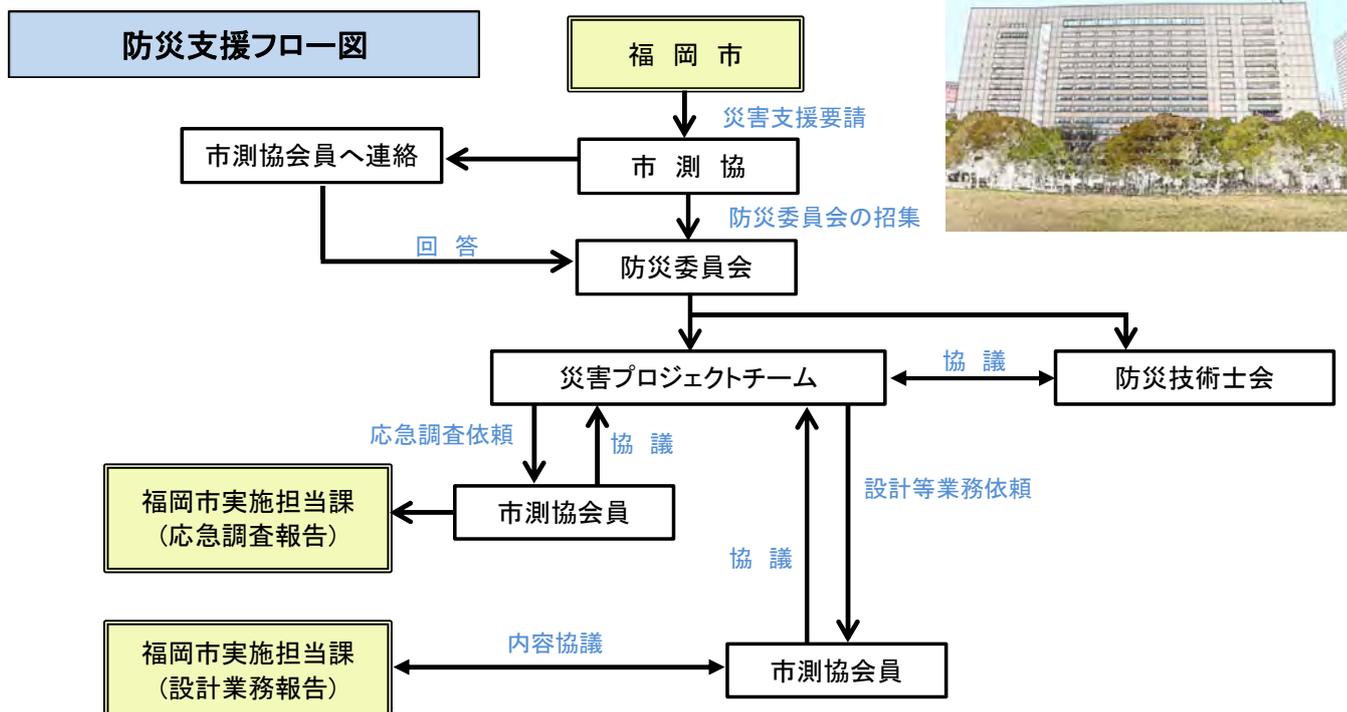
防災委員会
木村麟太郎

2月15日、福岡市と(一社)福岡市設計測量業協会(以下「市測協」)は「防災支援活動に関する基本協定書」を締結いたしました。この協定に基づき、災害が発生した場合、福岡市と市測協は協力体制を確立し、防災支援活動を的確に行い、市民の安全を最優先として最大限の活動を行わなければなりません。

この目的遂行のため、市測協は、従前の災害委員会を拡充発展して、新たに「防災委員会」を設置しました。

防災委員会の組織は、常設の技術アドバイザーのための防災技術士会(8部門の技術士により構成)と、実作業支援のための災害プロジェクトチームからなっており、如何なる種類、規模の災害に対応出来るよう配慮した組織としております。

また、防災委員会は災害時、市測協会員が一丸となって防災支援活動に取り組む組織とすべく、会員のネットワークの構築整備を行い、災害被害状況の把握を一元化し、適切な支援活動を行うべく、応急調査、災害測量設計の勉強会を適時開催して技術の向上を図っていきます。



東北大震災と、「てんでんこ」岩手県を訪れて

今年の桜は、開花宣言が例年より早く、3月下旬頃には花見シーズンが到来し、視察初日、5月7日の福岡地方は昼間の気温が、24度～25度程度で一気に初夏を思わせる日和であった。

一方、東北の春は遅いと、テレビの予報を信じて、バッグには各人、セーター、ハーフコート等用意万端である。

いざ出発！福岡空港から花巻へ。

5月のゴールデンウィーク後、東北の上空から見下ろした景色は、山々の頂に雪山の沈黙が垣間見え、改めて東日本の自然の厳しさを俯瞰したしだいです。



▲小岩井農場より岩手山を望む

さて空港に着くと早速、最初の視察地である釜石市役所の都市計画課に出かけ、竹澤課長より、災害公営住宅の見通しの説明を受けたが、事業化しているのは10%程度で、未だ復興状況としては道が遠い。

復興事業を急ぐにしても結局、適地の候補地が見つからず、もし有ったにしても地権者の同意を取り付けるには、現行法を遵守すると時間がかかりそうだ。

私たちは少しでも早く着工出来ることを、願う事しかありませんでした。都市計画課長の竹澤様には、お忙しい中に対応して頂いたことに、感謝申し上げて釜石市役所を後にした。

次は、鶴住居地区の被災状況を視察しながら、宿泊場所に向かった。途中、未だ瓦礫の山と、打ち捨てられた魚網のうず高い山を眺めたら、改めて被災の大きさが伺える。ところで今日の宿泊は、大槌湾に面した宝来館である。

そこで、「てんでんこ」の意味を教わりました。一人ひとり、自分の身だけ後振り返らずとにかく逃げる事、一分でも一秒でも早く高台へと、震災当時のテレビを見ていた私もそう思いました。

しかし、その反対であったことの説明を受けてようやく解りました。

それは日頃私たちが忘れかけていた、絆と信頼、そして自然の力の大きさと人間の無力さを教えてくれました。

日頃日常の生活の中で、家族の絆が深ければ親が、或いは祖父、祖母が語り継ぎ、自然の災害に対する術を教えるはずである。

その昔、目の不自由な祖父は地震が来たら、山頂近くの洞穴に居るからと家族には伝えていました。山頂まではケモノ道でも祖父は平

視察二日目は感動の連続だった宝来館を出発して、大槌町へ向いました。

そこは大槌役場もろとも、職員40名の犠牲者があった地区です。

役場の前には今も献花台に、哀悼の花が詰められ、正面の庁舎の時計は午後3時20分頃の長針が折れたままでした。それが津波の凄まじさを物語っています。丘の裾野には墓石が転々と転がり、未だ町民の姿が見えてこない。説明はUR(都市再生機構)大槌震災復興支援事務所の渡邊様をお願いしたところ、大槌町が一望できる高台(城跡)に行きそこで説明をしてくれました。

そこで、目にした被災地の状況は、大津波の凄まじさをまるで、絨毯爆撃の空襲跡そのものであった。

説明の中でこれから、整備計画が整ったので整備地区の高盛土や高台移転、更にインフラ整備等のハードな業務が、始まるという事でした。

次は最後の視察地の宮古市田老地区に向かった。

ここは大震災の時、女将さん自身が大津波の被害に遭い、九死に一生を得た体験者であり、その当時連日テレビ放映が為されていた。明日の朝、その体験談を聞くことにしている。

宝来館の場所は大槌湾に面し、海岸線から猫の額ほどのフラット部分から急に競り上がり、表面は岩に覆われた急斜面である。

もし地震が夜間であれば一人も助かってないだろうと思うとゾッとする。翌朝、女将さんから生声でその当時の、子供たちである中学生、小学生、幼稚園の生徒全員が避難して助かったこと、具に説明してくれました。

震災当時先ず、中学生が率先して高台へ避難を始めたら、小学生も後に続き、又、幼稚園児を負ぶったり、お年寄りには手を貸したり、中学生が縦横無尽の大活躍だったことを聞かされて、改めて教育の大切さを教えて貰った。一方大人たちのほうが、むしろ今までの経験測で避難が遅れて亡くなった現実がある。

気でたどり着きます。家族たちはそれぞれに洞穴を目指し、まっしぐらに駆け上がり再会を果たしたそうです。

その一人ひとりの行動が「てんでんこ」であると。

もし、絆や信頼が乏しければ子供たちは、親の居所を捜し又、親は子供たちを捜すでしょう。そこで何回となく押し寄せる津波に飲み込まれ尊い命を失うことになるでしょう。

今回の大津波は7回襲ってきたそうです。

最後に女将さんが、「これから何度津波が来ても誰も死なない、高台に逃げる事が出来ればよい」との、力強い言葉には感服致しました。



▲大槌町役場の被災状況



福岡市設計測量業協会行政連絡協議会からの報告

今年度、行政連絡協議会では、各区において、勉強会を重ねてきました。内容につきましては、以下のとおりです。なお、今後の勉強会は、一本化して行ってまいりたいと思います。

1月28日(月)	4月9日(火)	4月12日(金)	4月16日(火)	4月26日(金)
南区	博多区	西区	東・中央・早良区	城南区
<ul style="list-style-type: none"> 地場優先企業については、地域活動(防災協定)等の行動が必要となる。 契約課と原局との格差は、今後改善の方向にある。 選挙の応援については、積極的をお願いするし、勉強会も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 要望等に基づき、何時でも行動します。 福岡空港滑走路増設に伴う関連施設について、市測協のご協力をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民自治(コミュニティ形成)を優先に活動してきた。マンツーマンで活動していく。 健康づくり事業(トレッキングコース)の推進による医療費の節減。 児童の通学路安全事業(福重のベデストリアンデッキ) 災害を予防する事業の発掘(河川等浸水防災) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、個々に勉強会をしたい 狭隘道路や地籍調査の受注努力 入札について落札のパーセント上昇(63%~73%) 今後の活動は、会派で進めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 皆様と一緒に頑張ります。 ヨーロッパ視察の報告(電子粒子の研究に関して、開発による産業界への反映と転化を期待) 河川等の防災について協力をお願いしたい。
<p>要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 地場企業優先 原局発注の透明化 選挙人名簿について 	<p>要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 原局発注の公表 最低価格の公表 	<p>要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 契約課の発注と原局の発注を統一すること まちづくり(自治会)に積極的に参加(提案型) 	<p>要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 地場企業優先 原局と契約課の統一 アドバンテージのアップ 成果品の向上 総合評価と地場優先は矛盾しないか 	<p>要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 原局発注の公表 東北の災害応援(エリア別) 公共買収による一括開発



元九州都市整備センターの牧野氏が待つ、宮古市に到着したのは正午になりました。軽く食事を済まし田老地区へ、そこで、URの湊さんに現地の案内説明をして頂いたが、現地は物々しい防潮堤だけがモノも言わず横たわっていた姿を目の当たりにして、何故(?)、当然、防潮堤の計画当時は専門家がベストだと判断して、築造したはずである。

それが、1,000年に一度の地球の息吹で、一蹴されたのであった。誰のせいでもない(?)、しかし結果として住民の犠牲が伴ったことは、紛れもない事実である。2度と起こしてはいけない災害の犠牲者に、手向ける言葉として絶対安全は無い。

人間が行う物事すべてに対して自然には敵わない、だから自然を恐れよう。この地区も、復興計画は大槌町と同じペースで、整備地区の高盛土や、大規模の高台移転がこれから始まる。



▲田老地区防潮堤

今回の視察を終えて、あえて、希望として言わせて頂くとそろそろ復興計画も出揃い、いよいよ本格的な復興作業に突入するわけですから、被災された方々に一日でも、一時間でも早くスピードアップして、完工させて普段の生活に復帰させて頂きたい。その為には復興地域毎に、競争意識を持たせる事が肝心と思われまます。

過去に学ぶとするならば、江戸時代の木曾川の災害復旧に薩摩義士が、命をかけて携わったとのこと。私案として、全国主要自治体が職員と、当該民間の技術者で復興作業に赴き、後で国が地方交付金等で賄う。しかも早期完成した暁にはボーナスとして、地方債権の補填を行う。更に縦組織として復興庁、UR、各主要自治体で行ったらいかでしょうか。

そろそろ起こるであろう東海、東南海、南海の地震の前には東北大震災復興事業を完成すべきでしょう。口幅ったいことで申し訳ありません。

最後に地震が無いのがベストですが地球の営みには逆らえません。今回の大震災の復興が終えて、もし西日本で震災が来たら、東北から復興部隊が応援として来ていただければありがたい。同胞として末永く、宜しくお願いします。

第17回あそこまでなんぼ!

6月3日、測量の日恒例の『あそこまでなんぼ』を天神中央公園において開催した。

林国土地理院九州地方測量部長、砂田福岡市財政局理事、横山(一社)福岡県測量設計コンサルタント協会会長を来賓にお迎えして盛大に行われた。

また、福岡国土建設専門学校・福岡建設専門学校の生徒のみなさんには、課外授業の一環として参加して頂いたが、未来の技術士・測量士たちの歩測・高さあて・面積あてのクイズでは、正解の数値に近い解答が多くあり、その奮闘には目を見張るものがあった。



▲開会挨拶の上田会長と来賓の方々



▲歩測に挑戦!!



▲アクロスの緑にうっとり!ビルの高さは何メートル?



▲イベント開催前に公園内のゴミ拾いを行いました



▲車に搭載した三次元計測システムの説明を聞く来場者



ホームページ・リニューアルのお知らせ

技術委員会測量部会
GIS研究会:向 秀幸

当協会では、協会員や一般の皆様からこれまでに頂いた貴重なご意見・アドバイス等を基に、協会ホームページ(以下、HP)のリニューアルを行います。HPリニューアル後は、より分かり易く、有益かつ多くの情報をご提供することが出来るよう基本構成から見直しを図り、各種ページの作成・校正作業を進めております。

現行HPからの移行は、平成26年1月を予定に、頂いたご意見・ご要望等が、新HPへ反映出来るようにしていく所存です。

また、当協会では、連絡網・手段の多重化、情報拡散の多様化に対応する情報ツールの1つとして、Twitter(アカウント@FcpsInfo)を開設致しました。当協会の行事・各種案内・活動内容・日々の出来事について発信しておりますので、アカウントをお持ちの方は是非ともフォローして頂きますようお願い申し上げます。

RCCM資格試験の支援

技術委員会
設計部会:大曲秀美

昨年11月に実施されたRCCM資格試験に際し、10数名の方に支援を行いました。結果は厳しいものでした。その中で、業務経験論文と基礎・専門技術知識については、ほとんどの受講生が合格点に到達していますが、みなさんが苦勞している問題Ⅲの業務管理技術力の論文と、問題Ⅱの業務関連法制度、技術者倫理及びその他建設一般については低調でした。

昨年の反省点としては次のように考えられます。

①受講生の募集が遅かったため十分な添削時間がとれなかった。

②北部九州豪雨の災害復旧対応で忙しかった。

そこで、今年度も、引き続き支援を行う予定です。

今回はさらに、問題Ⅲの業務管理技術力の添削、問題Ⅱの建設一般の択一对策に重点を置いた支援を考えています。

新規支援希望の受講生募集を行います。昨年の受講生の方も頑張ってください。

なお、昨年ご協力いただいた講師の方々には、本年もご協力をお願いします。専門技術部門によっては、講師が不足していますので、ボランティアではありますが有資格技術者の方は、協会技術者のスキルアップにご協力願います。

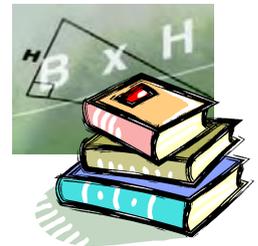


平成25年度 RCCM資格試験実施案内

試験実施日 平成25年11月10日(日)

試験科目 「問題・Ⅰ」・・・受験する専門技術部門における自己の業務経験
「問題・Ⅱ」・・・業務関連法制度、技術者倫理及びその他建設一般
「問題・Ⅲ」・・・業務遂行のための業務管理技術力
「問題・Ⅳ」・・・①土木関連共通基礎技術知識
②受験する専門技術部門の専門技術知識

詳細は(一社)建設コンサルタンツ協会 <http://www.jcca.or.jp/qualification/rccm/>



協会員の近況

【代表者変更】

・(株)スリーエヌ技術コンサルタント	代表取締役	福澤 一博	(平成24年 5月)
・(株)西部技術コンサルタント	代表取締役	松尾 涼二	(平成24年 10月)
・九州コンサルタント(株)	代表取締役	叶 信彦	(平成25年 2月)
・大光技術コンサルタント(株)	代表取締役	石井 恒央	(平成25年 6月)
・(株)九コン	代表取締役	下瀬 裕一	(平成25年 6月)

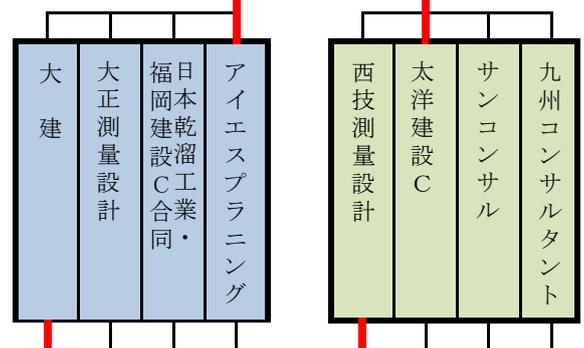
ソフトボール大会開催

5月17日、東区雁ノ巣レクリエーションセンターにおいて第29回ソフトボール大会を開催した。

1週間前の5月10日が雨天のため、順延しての開催であったが、当日は五月晴れの日差しの中、好プレーによる熱戦が続き、(株)アイエスプランニングチームが、二度目の優勝を果たした。



▲ 優勝したアイエスプランニングチーム

優勝
アイエスプランニング

一般社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員数 正会員 73社・賛助会員 17社

平成25年8月1日現在

設計部会 36社

アジアエンジニアリング(株)	(株)アジア建設コンサルタント	朝倉コンサルタント(株)	(株)旭建設コンサルタント
エイコー・コンサルタンツ(株)	エコーエンジニアリング(株)	(株)エム・ケー・コンサルタント	(株)エムテックエンジニアリング
九州コンサルタント(株)	極水設計(株)	(株)クマガイ設計測量事務所	玄洋技術(株)
五光設計(株)	(株)サンコンサル	佐藤設計(株)	産業開発コンサルタント(株)
(有)シティ・シビル・コンサルタント	(株)昭和建設コンサルタント	(株)新世コンソーシアム	(株)スリーエヌ技術コンサルタント
(株)西部技術コンサルタント	太洋建設コンサルタント(株)	(株)大陸総合コンサルタント	(株)拓研コンサルタント
第一総合技術(株)	(株)大建	(株)東洋技術コンサルタンツ	(株)トキワ・シビル
(株)都市計画設計事務所	都市企画センター(株)	西日本開発コンサルタント(株)	(有)野田土木設計事務所
福岡建設コンサルタント(株)	(株)富士総合技術コンサルタント	(株)不動エンジニアリング	メック(株)

測量部会 37社

(株)アイエスプランニング	(株)アオイ	(株)アースプランニング	(株)イズミ
井野測量設計	(株)エイティティ福岡	榮邁測量設計(株)	榮和測量設計(株)
(株)ガイア	春日総合技術(株)	基洲測量(株)	共和航業(株)
(株)九州技術協力	九州測量設計(株)	(株)コンテック	(有)光陽測量設計
(有)国土調査事務所	三栄測量設計(株)	(株)ジオ	新日本測量設計(株)
(有)セイワ測量設計	(株)測栄舎	(株)タイセイ技建	大正測量設計(株)
(株)高田工務所	(株)大高開発	大光技術コンサルタント(株)	大樹測量設計(株)
(株)デヴァイス藤原	(株)トーコン	(株)豊田工務所	(株)中村測建
西技測量設計(株)	(株)ヒカリ建設コンサルタント	福高総合技術コンサルタント(株)	明和技研(株)
芳野測量設計(株)			

賛助会員 17社

大野コンクリート(株)	(株)カクマール	(株)柏木興産本店	(株)九コン
(株)実測	(株)ジオテック技術士事務所	(株)シテイプラン	日本乾溜工業(株)
日本地研(株)	福岡コンクリート製品協同組合	(株)福岡ヤマックス	福井コンピュータ(株)九州営業所
(株)松尾測機	松永測機(株)	(株)水上洋行	水谷建設工業(株)福岡支店
(株)ヤマウ			

テストTIME

今回のテストTIMEはお休みします。

市測協だより44号の解答

- ① 酒 シュ・さけ ② 浴 ヨク・あびる ③ 池 チ・いけ ④ 濟 サイ・す(む) ⑤ 淡 タン・あわ(い)
 ⑥ 準 ジュン・なぞら(える) ⑦ 溜 リュウ・た(める) ⑧ 澄 チョウ・す(む) ⑨ 灘 タン・なだ ⑩ 漁 リョウ・あさ(る)

正解者の中から抽選の結果、次の方に図書カードをお送りしました。

○ 楠本未来様

○ 渡辺夏希様

ご応募ありがとうございました。



暑さ厳しき折柄、熱中症対策を万全にして健やかに夏を乗り切りましょう！

企画・編集
(一社)福岡市設計測量業協会 広報部会